

NIPPON ELEVATOR CATALOG

荷物用エレベーター

日本エレベーター製造

Lift trust
to the future.

CONTENTS

信頼を乗せて、未来へ運ぶ

高層ビル化、バリアフリー化が進む現在において
エレベーターは電気や水道と同じように、社会に欠かせないインフラです。

私たちは日本のエレベーター専門メーカーのパイオニアとして
1935年の創業以来、メイド・イン・ニッポンのものづくりにこだわり
お客様のニーズに一つひとつ丁寧に応えてきました。

何よりも安全という信頼を乗せて、誰かにとっての未来へ運ぶ。
「エレベーター一筋」で積み重ねた歴史と経験を誇りに、
これからも一台一台のエレベーターを大切につくり、見守りつづけます。

日本エレベーター製造株式会社

■「ISO9001」認証取得企業

| | |
|-------|----------------|
| 01 | 日本エレベーター製造株式会社 |
| 02 | CONTENTS |
| 03-10 | 荷物用エレベーター |
| 11-12 | 安心の保守・管理 |
| 13 | サービスネットワーク |

荷物用エレベーター

過酷な使用条件に耐えるよう、高耐久性・高品質を実現。

長期的なトータルコストで大きな強みを発揮します。



工場・物流施設などで、荷物の運搬に欠かせない荷物用エレベーター。生産性に直結する生命線だからこそ、とにかく頑丈に、耐久性を重視した設計・製造に努めております。
機械室なし式をご選択いただくと、従来の機械室スペースを有効に活用できるほか、動線を重視した自由度の高いレイアウトが可能になります。
かごの大きさ・積載量などを自由に選択可能なオーダーメイドにも対応しており、お客様それぞれの使用条件・ご要望に沿った最良のエレベーターをご提案いたします。

標準操作方式

| 操作方式 | 仕様 |
|-----------------|---|
| 単式自動運転方式 | 乗場操作パネルに「呼」、「閉」ボタンがあり、かご操作パネル内の行先階ボタンで目的階まで自動運転させることができます。かご操作パネル内の行先階ボタンによる運転が乗場の呼びより優先し、運転中は他階の呼びに応じない運転方式です。 |
| 単式自動方式乗場相互階運転方式 | 乗場操作パネルに「呼」、「閉」、及びかご操作パネルと同様の行先階ボタンを各階に設け、乗場操作パネルの行先階ボタンを押すことにより、かご内に荷扱い者が乗らなくても目的階まで自動運転させることができます。運転中は他階の呼びに応じない運転方式です。 |
| 乗合全自動方式 | 乗場操作パネルに「↑」、「↓」ボタンがあり、かご操作パネル内の行先階ボタン及び乗場ボタンによる呼びは一樣に多数登録できます。かごはその呼びに応じて順次停止していき、その方向に呼びがなくなれば運転方向を反転し、順次同方向の呼びに応じていく運転方式です。 |

操作パネル

かご操作パネル(上部部分)



乗場操作パネル



(単式自動運転方式用)

(単式自動方式乗場相互階
運転方式用)

ボタン

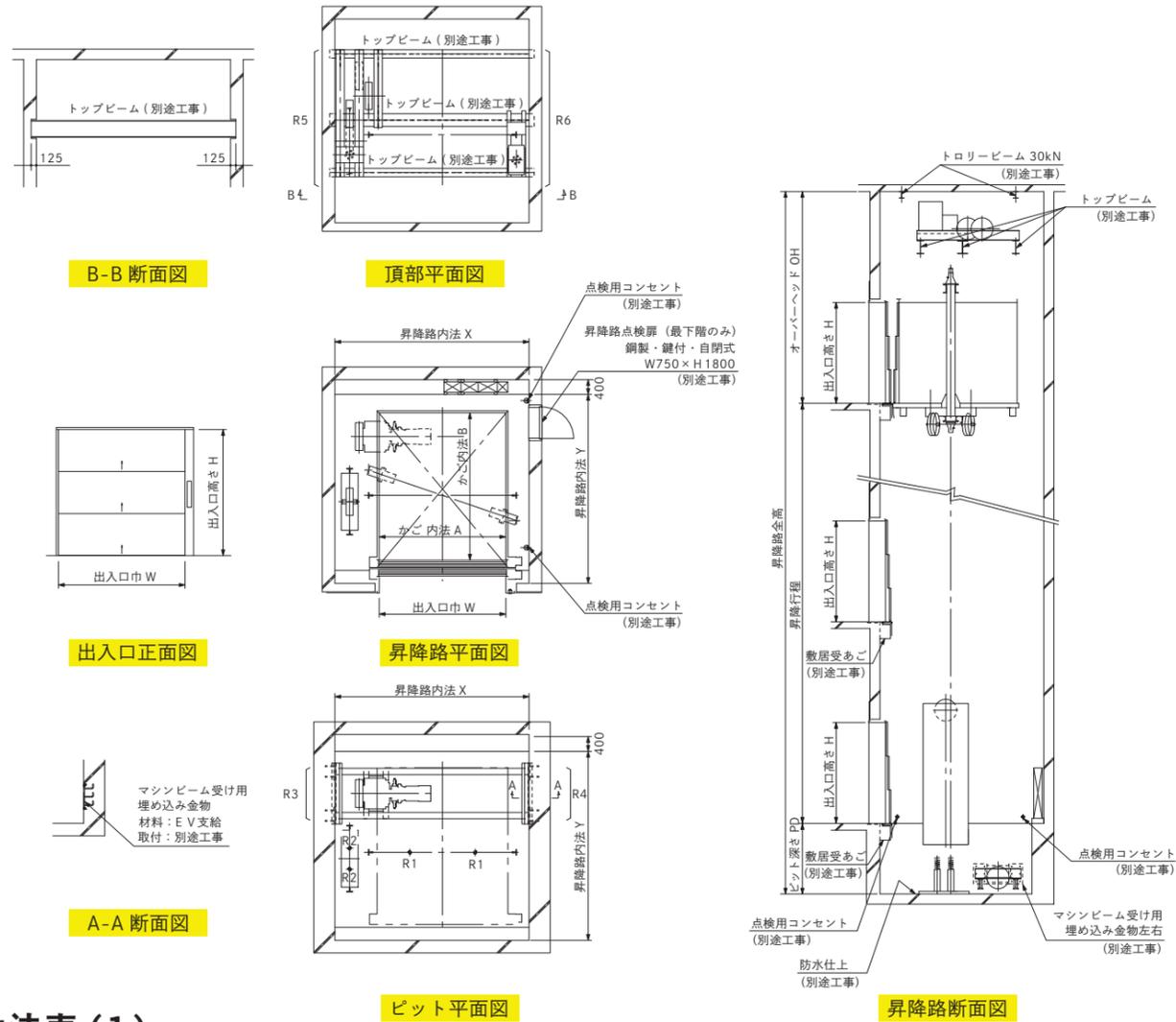


凸文字階床ボタン
(オレンジLED×ブルー)



乗場ボタン
(オレンジLED×ブルー)

大型荷物用 RC造 / 据付図



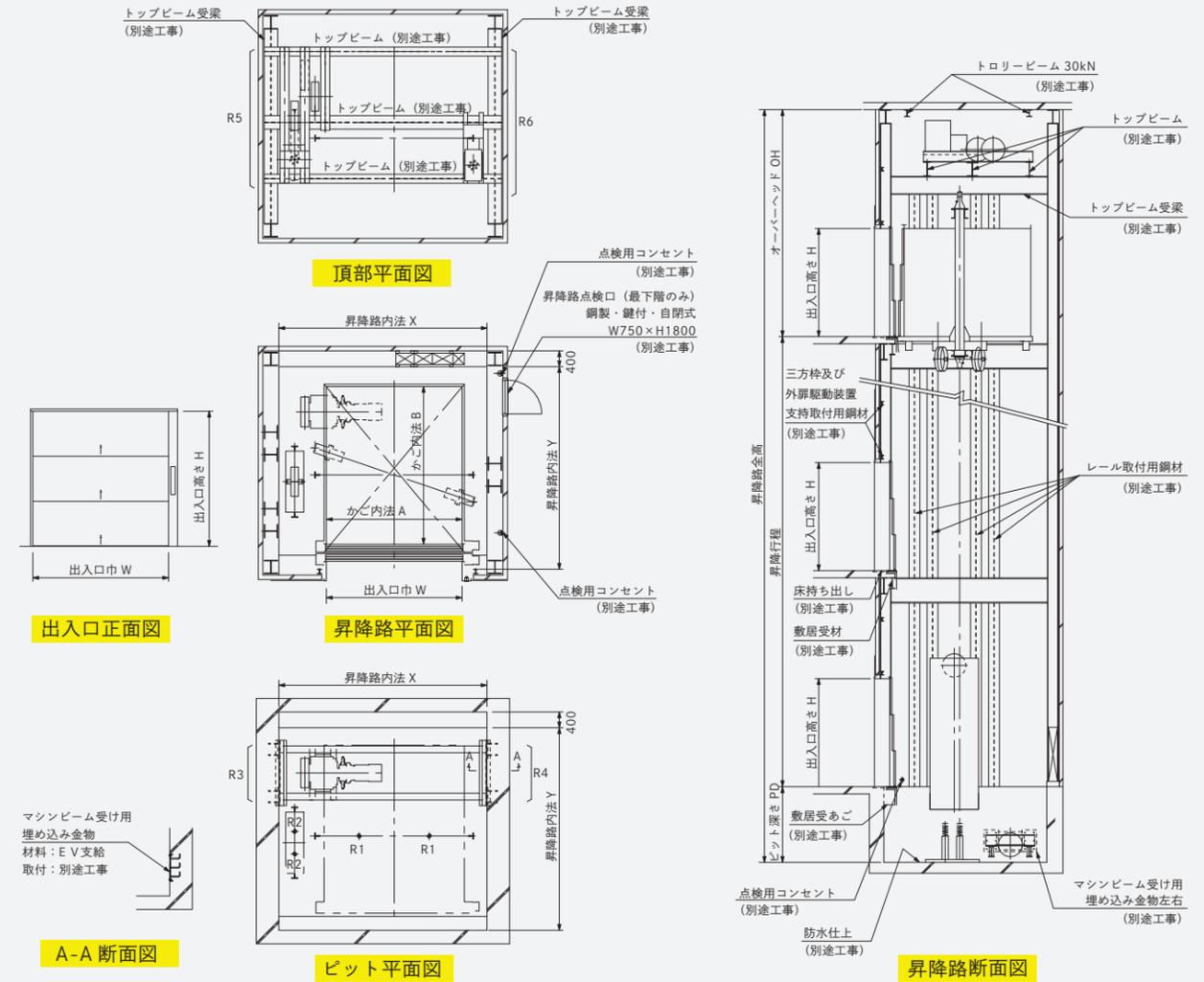
寸法表 (1)

(単位 mm)

| 積載量 (kg) | 速度 (m/min) | かご内法 | | 出入口 | | 昇降路 | | | | ピット反力 (kN) | | | | | | 電動機容量 (kW) | |
|----------|------------|------|------|---------|------|------|--------|------|----------|------------|---------|---------|---------|---------|---------|------------|---------|
| | | 間口 A | 奥行 B | 型式 | 巾 W | 高 H | 昇降路内法 | | ピット深さ PD | オーバーヘッド OH | R1 短期荷重 | R2 短期荷重 | R3 長期荷重 | R4 長期荷重 | R5 長期荷重 | | R6 長期荷重 |
| | | | | | | | 間口 X | 奥行 Y | | | | | | | | | |
| 2000 | 30 | 2000 | 3000 | 3S | 2000 | 2500 | 3450 | 3800 | 1850 | 5600 | 84 | 69 | -85 | -16 | 244 | 109 | 7.5 |
| | (3500) | | | | | | 11 | | | | | | | | | | |
| 2500 | 30 | 2500 | 3000 | 3S / 3U | 2500 | 2800 | 3950 | 2000 | 5900 | 111 | 91 | -115 | -18 | 330 | 137 | 15 | |
| | (4000) | | | | | | 11 | | | | | | | | | | |
| 3000 | 30 | 3000 | 3200 | 3U | 3000 | 3000 | 4600 | 3950 | 6100 | 129 | 106 | -137 | -19 | 384 | 149 | 11 | |
| | (4500) | | | | | | (4000) | | | | | | | | | | 18.5 |

※R3・R4 は上方向の荷重です。 ※たわみ 0.5cm 以下。 ※応力 (SS400 の場合) 23500N/cm² 以下。 ※ () は出入口型式が 3U の場合の寸法です。

大型荷物用 S造 / 据付図



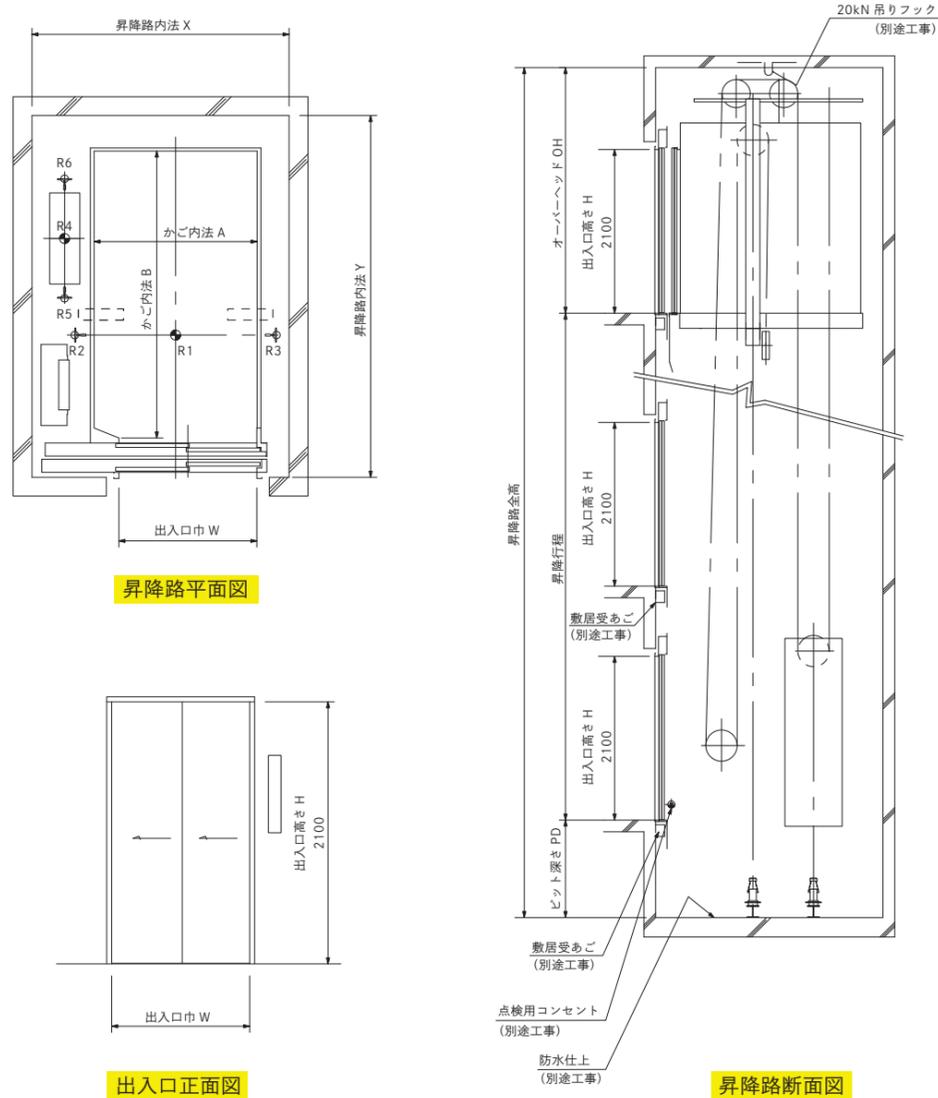
寸法表 (2)

(単位 mm)

| 積載量 (kg) | 速度 (m/min) | かご内法 | | 出入口 | | 昇降路 | | | | ピット反力 (kN) | | | | | | 電動機容量 (kW) | |
|----------|------------|------|------|----------|------|------|--------|------|----------|------------|---------|---------|---------|---------|---------|------------|---------|
| | | 間口 A | 奥行 B | 型式 | 巾 W | 高 H | 昇降路内法 | | ピット深さ PD | オーバーヘッド OH | R1 短期荷重 | R2 短期荷重 | R3 長期荷重 | R4 長期荷重 | R5 長期荷重 | | R6 長期荷重 |
| | | | | | | | 間口 X | 奥行 Y | | | | | | | | | |
| 3500 | 30 | 3000 | 3500 | 3S / 3U | 3000 | 3000 | 4600 | 4250 | 2000 | 6100 | 140 | 113 | -148 | -20 | 409 | 160 | 15 |
| | (4500) | | | | | | (4300) | | | | | | | | | | |
| 4000 | 30 | 3000 | 4000 | 4CO / 3U | 3000 | 3000 | 4950 | 4700 | 2100 | 6250 | 153 | 122 | -159 | -22 | 438 | 174 | 15 |
| | (4500) | | | | | | (4800) | | | | | | | | | | |
| 5000 | 30 | 4000 | 4000 | 3U | 4000 | 4000 | 6300 | 2100 | 6250 | 186 | 149 | -199 | | 550 | 201 | 18.5 | |
| | (5500) | | | | | | 18.5 | | | | | | | | | | |

※R3・R4 は上方向の荷重です。 ※たわみ 0.5cm 以下。 ※応力 (SS400 の場合) 23500N/cm² 以下。 ※ () は出入口型式が 3U の場合の寸法です。

小型荷物用 RC造 / 据付図



寸法表

(単位 mm)

| 積載量 (kg) | 速度 (m/min) | かご内法 | | 出入口 | | 昇降路 | | ビット反力 (kN) | | | | | | | | 電動機容量 (kW) | |
|----------|------------|------|------|-----|------|------|-------|------------|----------|------------|------|------|------|------|------|------------|------|
| | | 間口 A | 奥行 B | 型式 | 巾 W | 高 H | 昇降路内法 | | ビット深さ PD | オーバーヘッド OH | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | | R6 |
| | | | | | | | 間口 X | 奥行 Y | | | 短期荷重 | 長期荷重 | 長期荷重 | 短期荷重 | 長期荷重 | | 長期荷重 |
| 750 | 45 | 1300 | 2300 | 2S | 1100 | 2100 | 2000 | 2700 | 1250 | 3150 | 78.0 | 30.7 | 30.4 | 64.1 | 43.0 | 17.2 | 3.5 |
| | 3200 | | | | | | | | | 96.5 | 79.4 | | | 4.6 | | | |
| 1000 | 45 | 1500 | 2500 | 2S | 1200 | 2100 | 2200 | 2900 | 1250 | 3150 | 91.6 | 34.3 | 34.0 | 73.2 | 46.6 | 18.4 | 4.6 |
| | 3200 | | | | | | | | | 113.5 | 90.6 | | | 6.2 | | | |

仕様一覧

●: 基本仕様 ○: 有償付加仕様

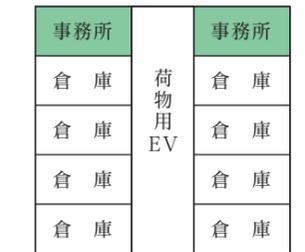
| 項目 | 仕様 | | |
|--------------|-----------------------------|-----------------------------------|---|
| 操作方式 | 単式自動運転方式 | | ● |
| | 単式自動方式乗場相互階運転方式 | | ○ |
| | 乗合全自動方式 | | ○ |
| 管制運転 | 地震時管制運転 (リスタート機能付) | | ● |
| | 停電時自動着床装置 | | ● |
| | 自家発時管制運転 | | ○ |
| | 火災時管制運転 | | ○ |
| | 冠水時管制運転 | | ● |
| 安全機能 | 戸開走行保護装置 UCMP | | ● |
| | マルチビームドアセフティ (かご)※1 | | ● |
| | 光電式ドアセフティ (乗場) | | ○ |
| | 遮煙性能付乗場戸 (2枚戸上開き、3枚戸上開きは除く) | | ○ |
| サービス機能 | 戸開き延長ボタン | | ○ |
| | フォークリフト対応 | | ○ |
| 400V電源 (一次側) | | | ○ |
| かご | 照明 | LED照明 (埋込型) | ● |
| | 天井 | 鋼板塗装 | ● |
| | 側壁・戸 | 塗装鋼板 | ● |
| | | ステンレスヘアライン | ○ |
| | 出入口柱 | ステンレスヘアライン | ● |
| | 幅木 | ステンレスヘアライン | ● |
| | 床 | 縞鋼板塗装 | ● |
| | 敷居 | 縞鋼板塗装 (2枚戸上開き、3枚戸上開きの場合) | ● |
| | | 鋼板塗装 (2枚戸、3枚戸片開き、4枚戸両開きの場合) | ● |
| | | ステンレスヘアライン (2枚戸、3枚戸片開き、4枚戸両開きの場合) | ○ |
| | 操作パネル | フェースプレート ステンレスヘアライン | ● |
| | 荷ずり | ステンレスヘアライン | ● |
| | 二方向出入口 | | |
| 乗場 | 三方枠 | 小枠鋼板塗装 | ● |
| | | 大枠ステンレスヘアライン | ○ |
| | 戸 | 鋼板塗装 | ● |
| | | ステンレスヘアライン | ○ |
| | 敷居 | 縞鋼板塗装 (2枚戸上開き、3枚戸上開きの場合) | ● |
| | | 鋼板塗装 (2枚戸、3枚戸片開き、4枚戸両開きの場合) | ● |
| 操作パネル | フェースプレート ステンレスヘアライン | ● | |

※1 出入口幅 3m を超える場合は装備できません。

計画上のご注意

搭乗者に関する規制について

荷物用エレベーターには荷物の運搬を目的とした専任の運転者、または荷扱者しか搭乗出来ません。したがって、上階に居室、事務所等があり、設置されるエレベーターが乗用または人荷用として利用されることが想定される場合は設置できません。このような場合には、別途乗用または人荷用エレベーターの併設が必要となります。



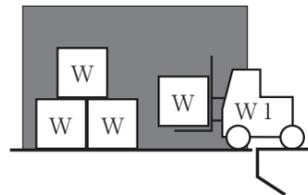
単独で設置できないケース

フォークリフト等使用の場合の

積載荷重の選定について (フォークリフト対応有償付加仕様)

フォークリフト等の動力付運搬機を使用して、荷物の積み込み(積み下ろし)作業を行う時、フォークリフト等と荷物を含めた停止中最大荷扱量が、積載量の150%を超えないように積載量を選定して下さい。

■停止中最大荷扱量の計算例



$$\text{停止中最大荷扱量 } 500\text{kg} \times 3 + (500\text{kg} + 1,000\text{kg}) = 3,000\text{kg}$$

W: フォークリフト積載量 (500kg)

W1: フォークリフト自重 (1,000kg)

$$\begin{aligned} \text{積載量} &= \text{停止中最大荷扱量} \div 1.5 \\ &= 3000 \div 1.5 \\ &= 2,000\text{kg} \end{aligned}$$

エレベーターの設置環境について

昇降路内は標準設置環境(温度は最高40℃・最低-5℃、湿度は月平均90%・日平均95%以下)に適合することが必要で、昇降路・乗場周辺及び周囲に腐食性ガス・塩分・塵埃粉塵が存在する場所、高湿の場所、低温のため氷結する場所などには、このエレベーターは設置できません。

このような特殊な環境に設置する場合はご相談下さい。

かご室の二方向出入口について

同一階に二つの乗場出入口を設ける場合、かご室が通路として利用されないように、乗場近くに正規の通路を設けて下さい。

敷居受けの構造について

エレベーターの敷居には荷物の運搬時に台車・動力付搬送機等の車輪から大きな集中荷重・衝撃荷重を受けるため、敷居受けはコンクリート構造にて施工願います。(別途工事)

工事範囲外の建築・設備工事

次の項目については除外工事によりエレベーターの見積りに含まれておりません。

建築・設備工事として別途に施工くださるようお願いいたします。

| | | 別途工事内容 | 大型 | 小型 |
|----------------------------------|---|--|----|----|
| 建築 工事 関係 | 昇 降 路 | 昇降路の築造・耐火処理工事及び各階乗場工事。(インジケーター・押しボタン用開口を含む) (コンクリート打ちの誤差30mm以上の所は、必要に応じ、はつり又は肉付け工事) | ○ | ○ |
| | | 鉄骨構造・PC構造の昇降路における各階のファスナー設置工事、乗場関係機器取付け用鋼材の設置工事、又はインサート埋込み工事。(レールブラケット取付用中間ビーム又は立柱設置工事を含む) | ○ | ○ |
| | | 乗場敷居受けコンクリート持ち出し工事。 | ○ | ○ |
| | | 鉄骨構造の昇降路における鉄骨部分の耐火処理工事。 | ○ | ○ |
| | | 各階乗場出入り口枠周囲のモルタル埋め工事。 | ○ | ○ |
| | | 乗場関係機器取付け後の各階出入り口周囲の壁、床、その他建設物補修仕上工事。 | ○ | ○ |
| | | 併設エレベーターの間仕切り工事、又は中間ビーム設置工事。 (ビット床に段差がある場合の安全柵を含む) | ○ | ○ |
| | | ビット内防水仕上工事。(必要に応じ排水設備工事を含む) | ○ | ○ |
| | | ビットが深い場合の埋戻し工事。 | ○ | ○ |
| | | 昇降路頂部に機器荷上げ用のトロリービーム又はフックの取付工事。 | ○ | ○ |
| | | トップビーム及び受梁の設置工事。 | ○ | - |
| | | マシンビーム受け用インサートプレート埋込み工事。 | ○ | - |
| | | 昇降路内跳ね出しスラブの設置工事。 | ○ | - |
| | | ビット点検用出入り口設置工事。 | ○ | - |
| 急行ゾーンがある場合の昇降路救出口設置工事。 | - | - | | |
| 屋外に面した乗場の庇、床勾配及び排水溝等の雨水侵入防止対策工事。 | ○ | ○ | | |
| 二方向出入口の場合の昇降路点検口の設置工事。 | ○ | ○ | | |
| 機 械 室 | 機械室の築造・耐火処理工事及び同出入口設置工事。(必要に応じ防音対策工事を含む) | - | - | |
| | 機械室床の開口スリーブ工事。 | - | - | |
| | 機械室天井に機器荷上げ用のトロリービーム又はフックの取付工事。 (トロリービーム又はフックは吊り荷重3tf以上のものを設置) | - | - | |
| | エレベーター機械台受梁の設置工事。 | - | - | |
| | 機械室床配管後のシンダーコンクリート打設工事及び防塵仕上げ工事。 (シンダーコンクリート厚 約100mm(仕上げを含む)) | - | - | |
| | 巻上機等の機械類搬入口の設置及び復旧工事。 | - | - | |
| 設 備 工 事 関 係 | 採光窓及び換気口の設置工事。 | - | - | |
| | エレベーター受電盤までの動力電源・照明電源・接地線の引込み、並びにつなぎ込み工事。 (医療機器、放送用機器、PC機器等の電源と動力電源の電源系統分離工事を含む) | ○ | ○ | |
| | 機械室の照明設備及び点検用コンセント設置工事。 | - | - | |
| | ビットの点検用コンセント設置工事。 | ○ | ○ | |
| | 機械室、昇降路の換気又は空調設備工事。 | ○ | ○ | |
| | 外部インターホン・非常ベル用の配管配線工事。 | ○ | ○ | |
| | 火災警報の無電圧接点の支給及び配管配線工事。 | ○ | ○ | |
| | 一般・非常放送用線の配管配線工事。 | ○ | ○ | |
| | エレベーター遠隔監視用電話線の配管配線工事。 | ○ | ○ | |
| | 監視盤・監視カメラ用の配管配線工事。 | ○ | ○ | |
| | 監視盤までの電源線の引込み工事。 | ○ | ○ | |
| 自家発電電源識別用の無電圧接点の支給及び配管配線工事。 | ○ | ○ | | |
| 自家発電電源の供給設備工事。 | ○ | ○ | | |
| 昇降路頂部又は機械室天井の煙感知器の設置及び配管配線工事。 | ○ | ○ | | |

- ※ 機械室と昇降路内温度は40℃、湿度は月平均90%・日平均95%を超えないようにしてください。
- ※ 機械室と昇降路には有害ガスや甚だしい塵埃等が入らないようにしてください。
- ※ エレベーター部品の搬入に支障のない経路を確保願います。
- ※ エレベーター機械室受電端における電源電圧の変動は5%以内、電圧不平衡率は5%以内に保つようにしてください。
- ※ 漏電遮断機はインバーター用又は高周波に対して不要動作をしない製品を使用してください。

- ※ 据付工事用仮設電源、試運転用電力等は無償供給願います。
- ※ エレベーターを工事用として使用する場合は別途ご相談ください。
- ※ エレベーター部品、据付材料の保管場所を無償貸与願います。
- ※ 昇降路内の騒音・振動等が居室に伝搬しない配置及び躯体構造(防音・防振工事等)としてください。
- ※ 躯体が承諾図と相違がある場合は、エレベーター着工日までに躯体の修正をお願いいたします。

安心の保守・管理

保守のご契約を頂きますと、エレベーターの管理情報は設計・製造情報とともに Nichele Note（当社データベース）に蓄積され、定期点検・法定検査・修繕工事はもちろん、あらゆる“万が一”に迅速かつ確実なサポートが可能となります。製造メーカーだからこそその情報量・部品供給力、そして技術員が24時間365日待機する全国ネットワークで、お客様に安全・安心をご提供します。

遠隔監視システム

サポートセンターでは、エレベーター側に設置した通信端末装置を通して、24時間365日、お客様のエレベーターの状態をリモートで見守っています。万が一の突発的な故障が発生した場合でも、サポートセンターではその内容を瞬時に確認し、最寄りの技術員による復旧の手配をスピーディーに行います。



遠隔監視システムの特徴

1. 遠隔監視機能

エレベーター主要機器の状態を監視すると同時に、トラブル発生時にかご内のお客様に安心していただけるよう、サポートセンターからインターホンを通して直接通話が可能となります。

2. 機械監視機能

(1) 遠隔自動点検

技術員による訪問点検とは別に、エレベーター制御装置に蓄積された運行データを取得します。お客様へは、「エレベーター機械監視点検報告書」・「エレベーターご利用状況」にて、エレベーターの状況を月次でご報告します。

※ 報告書はお客様よりご要求がある場合にお渡ししています。

(2) 変調診断

エレベーター制御装置に蓄積された機器の状態変化を捉え、「軽レベル」・「重レベル」の識別を行い、その情報を技術員へ伝達します。これにより、故障の予防保全・早期復旧が可能となります。

3. 遠隔救出機能

万が一の閉じ込めが発生した場合には、サポートセンターで故障データを確認し、かご内防犯カメラによる映像とインターホンによる通話でかご内の状況も確認しながら、遠隔操作により救出を行います。

※1 この機能の装備には、電話回線が2回線必要となります。1回線は遠隔監視機能・機械監視機能に使用し、もう1回線は画像転送用に使用します。

※2 エレベーターの法定安全装置が作動している場合には、遠隔救出機能を作動できない場合があります。

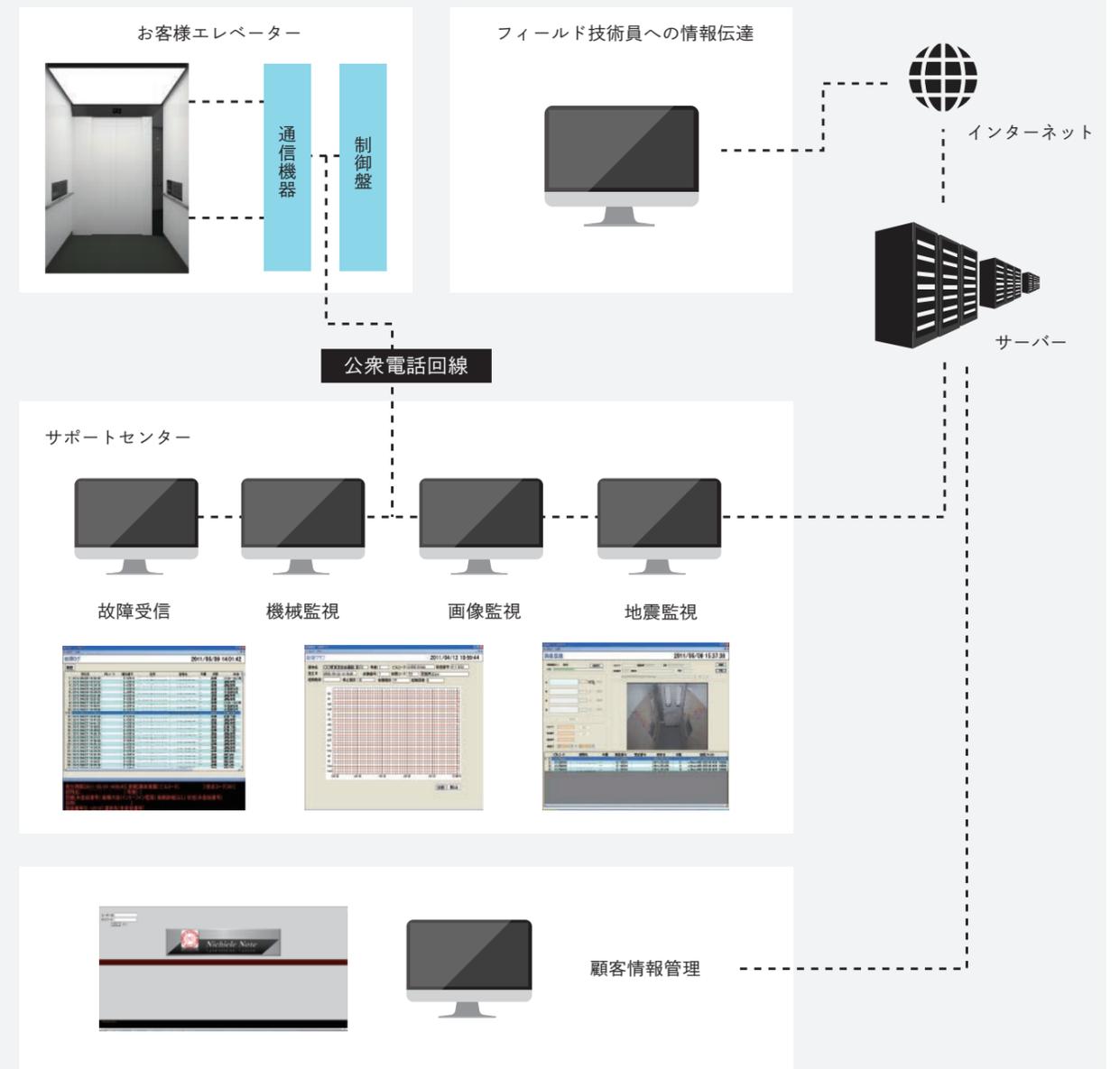
※3 この機能は、万が一の閉じ込め故障発生時に復旧させる機能となります。本復旧には技術員による訪問点検が必要となります。

4. 地震時自動診断・復旧システム

地震時管制運転で休止したエレベーターを、自動で異常診断運転を行い、異常が認められない場合には、一時的に復旧させるシステムです。なお、復旧したエレベーターは技術員による点検（本復旧）が必要です。

※ このシステムには当社と保守(機械監視)契約が必要となります。

5. 遠隔監視システム構成



お客様のエレベーター情報は設計・製造段階から Nichele Note に登録され、フィールド技術員からの技術情報も蓄積・故障分析・部品交換周期などに反映されています。

サービスネットワーク

Nationwide Network in Japan

末永く「安全・確実」エレベーターをご利用していただくため、遠隔監視システムや故障通話の充実を図り、保守・管理を担う拠点を全国に配し、万一の場合にも迅速な対応をさせていただきます。

詳細は当社までお問い合わせ下さい。
ご相談・お問合せを心よりお待ちしております。



本 社 : 〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-3 TEL : 03-3866-0261
工 場 : 〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町 1-7 TEL : 048-987-0111

営業所

札幌営業所 : 〒060-0806 北海道札幌市北区北 6 条西 6-2-12 TEL : 011-788-6860
仙台営業所 : 〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡 1-6-3 TEL : 022-742-2031
名古屋営業所 : 〒453-0035 愛知県名古屋市中村区十王町 2-1 TEL : 052-461-3111
大阪営業所 : 〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀 2-4-9 TEL : 06-6441-8021
福岡営業所 : 〒812-0008 福岡県福岡市博多区東光 2-3-18 TEL : 092-411-0193

フィールドセンター

東京フィールドセンター : 〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-1-5 TEL : 03-3864-4951
北海道フィールドセンター : 〒060-0806 北海道札幌市北区北 6 条西 6-2-12 TEL : 011-736-9155
東北フィールドセンター : 〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡 1-6-3 TEL : 022-742-2035
名古屋フィールドセンター : 〒453-0035 愛知県名古屋市中村区十王町 2-1 TEL : 052-461-3111
大阪フィールドセンター : 〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀 2-4-9 TEL : 06-6443-3287
九州フィールドセンター : 〒812-0042 福岡県福岡市博多区東光 2-3-18 TEL : 092-431-2704

<http://www.nichiele.co.jp/>

■当社ホームページも併せてご覧ください。

日本エレベーター製造

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-3
TEL:03-3866-0261 FAX:03-3864-8533
<http://www.nichiele.co.jp>

■[発行] 2019年6月
■カタログに掲載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承下さい。